



# かどましりつとしょかんだより

2024年 9月 第43号

まだまだ暑い日が続きますが、朝と夜は過ごしやすい気温になる日も増えてきました。〇〇の秋といえば思いつく言葉はたくさんありますが、やはりここでは読書の秋をおすすめしたいと思います。読書週間は10月27日から。今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。本を読み、おいしいものを食べて、スポーツも芸術も楽しんで実り多い秋にしてくださいね。

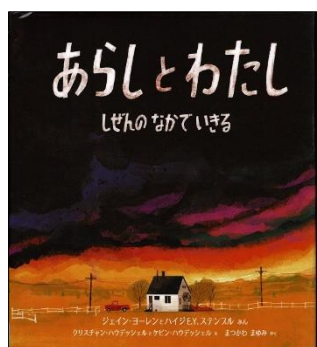


## おすすめのほん



### 「あらしとわたし しぜんのなかでいきる」

ジェイン・ヨーレン／ぶん クリスチャン・ハウデッセル／え 評論社



えほん

竜巻、吹雪、山火事、台風などあらゆる災害にさらされながら、その土地でたくましく生きていく家族たちのすがたが描かれています。「あらしがやむのはいつものこと。ぼくもまた、おだやかになる。」わたしたちにも自然の中で生きる力があることを教え、災害のおそろしさにすくむ心をはげましてくれる1冊です。

### 「はな とりかえっこ」

角野栄子／さく さとうあや／え 偕成社



やさしいよみもの

お花が咲いて美しい季節になると、アラさんはくしゃみがとまりません。「このはな、どこかへすてちゃおうかしら」といらいらしていると、ブタさんがやってきて「はなをと리카えっこしよう」と言います。さて、とりかえっこしたアラさんはブタさんのはなをうまくつかうことができるでしょうか？ユーモアたっぷりのお話です。

### 「リスのエビフライ探検帳」

飯田猛／著 技術評論社



やさしいよみもの

森でみつけたエビフライによく似た不思議な落とし物。それはなんとリスのしわざだったのです。エビフライの正体は、いったい何なのでしょう。どのようにしてエビフライが出来上がるのでしょうか。リスやマツボックリなど自然のひみつを写真でわかりやすく楽しめる科学絵本です。

### 「あなたの国では」

小手鞠るい／著 さ・え・ら書房



よみもの

日本ではあたりまえのことも、ほかの国ではそうではないのかもしれない。旅行作家が世界中をめぐって、出会った異国の17人をインタビューするという少し変わったかたちの物語。生まれた国によって「正しさ」は違っていても、共通の願いはある。ほんとうの意味での国際理解、平和とはどういうことなのかを考えさせられます。



## としょかんクイズ

秋が旬の食べ物「さつまいも」は、元々は中央アメリカで栽培されていました。日本に初めて伝わったところは、今の都道府県でいうどこでしょうか。

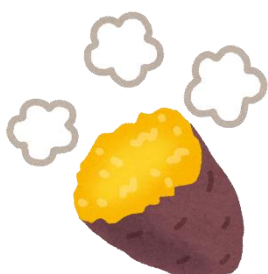
こたえ→ 当番中  
ツリカケ

### ◆おまけ◆

さつまいもは、16世紀末に琉球（現在の沖縄県）に伝わり、18世紀初めに南九州を中心に栽培されるようになりました。

### 【参考文献】

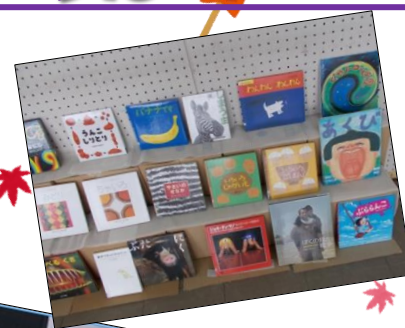
- ・サツマイモ大図鑑 P16、P45
- ・栽培大図鑑 P28,29
- ・総合百科事典ポプラディア7 P88, 89



## えほんのひろば

7月は第四中学校、8月は沖小学校、9月は五月田小学校と大和田小学校でえほんのひろばを開催しました。

楽しんでもらえたでしょうか。11月以降も学校だけでなくいろいろな所で開催予定です。いっしょにお気に入りの1冊を見つけましょう！



次号は12月上旬に発行予定

